



令和8年度 知的財産権制度関係功労者表彰

知財功労賞 特許庁長官表彰

(五十音順 敬称略)



いま むら てつ や
今村 哲也

学校法人明治大学 専任教授

功績概要

- 特許庁の調査研究等事業において、「地域団体商標制度」の検討の基礎資料となった、団体商標に関する調査研究報告書のとりまとめに関与し、「地域団体商標制度」の創設に寄与。また、明治大学着任後も地域ブランドの保護の在り方に着目した研究を継続し、我が国における地域ブランド保護法制の課題を学術誌への論文発表や学会での発表を通して明確化することで地域ブランド保護制度の円滑な導入と発展に貢献。
- 工業所有権審議会で弁理士試験委員・臨時委員を務め、弁理士試験制度の充実と透明性の確保を目的とする議論にも参加することで公正な試験運営に寄与。あわせて長年の教育・研究経験を活かし、出題内容や評価基準の専門的検討に貢献。
- 大学の教育者として知的財産法の教育に注力し、文系理系の別を問わず人材育成に尽力。大学・研究機関のみならず各種団体の研修等でも知的財産制度に関する講演を行い、国内外の実務者を継続的に育成するとともに、関係団体での普及活動により、知財リテラシーの向上と国際調和に寄与。



き もり ゆう へい
木森 有平

木森国際特許事務所 所長

功績概要

- 石川県で活躍する弁理士として無料相談員の他、商工会議所や大学等においても特許アドバイザーを務め、個人の発明家から県内のニッチトップ企業に至るまで、約30年間にわたり発明相談に対応するとともに、長年にわたる発明協会での活動を通じて、子供から大人まで、発明相談にとどまらない知的財産の普及・啓発活動に尽力。
- 能登地域における地域団体商標をはじめとする商標登録など知的財産を利用した能登地域の伝統文化の保護と地域産業の振興に貢献。また、能登半島沖地震発生後、地元企業に対して令和6年能登半島地震に関する特許出願等復興支援制度による商標出願を提案し、登録された商標を利用したブランド戦略や資金調達へつなげるなど被災地への復興支援に寄与。
- 日本弁理士会北陸支部支部長として、北陸支部ならではの広報活動として「北陸サミット」を開催し、地域ブランドの推進・知財活用・知財リスクマネジメントを奨励し、地域ブランド戦略や知財の取組に関する情報発信等により知的財産の普及・啓発に尽力。また、知財広め隊セミナーにおいては講師として自身が携わった事例を紹介しながら、中小企業に対して知的財産の利活用の促進を図ることに貢献。

